

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

October 2013

Écoutez Bien Vol.32 No.347

10

君はボードゲームを知っているか？





五感で楽しむ食欲の秋

Harmonier de fruit de mer - façon de chef

立川で育った烏骨鶏卵と海の幸のハーモニー 益子飾り

レギャン東京 マエストロシェフ

山岸一茂

食欲の秋がやって参りました。山の幸・海の幸、これから沢山の美味しい食材達を集めますよ!でも皆さん忘れてはいけません。全ての食材達には尊い命が有る事を。感謝して戴きましょう。今回の料理は比較的馴染みのあるサーモン・ヤリイカ・帆立貝・銀杏、そして烏骨鶏の卵を使いました。烏骨鶏の卵はその昔、楊貴妃が美貌を保つ為に毎日食していた卵です。濃厚でコクがあり、上品な味がします。小ぶりですが栄養価も高い。クレームブリュレ、カスタードプリン、アイスクリーム等にとすると美味しくて頬ぺたが落ちますよ!僕は卵かけご飯が最高だと思います。今回はその烏骨鶏卵にホウレン草を着せて益子を飾りました。銀杏・しめじ・パプリカ・タピオカは海の幸と一緒に白ワインで蒸し上げ昆布ダシと生クリームで仕上げました。お好みの魚介類と森のキノコを沢山入れても美味しくなります。ドライな白ワインと召し上がれ!

少し話は変わります。今パリで流行っている料理ご存じですか?寿司バー、讃岐うどん、ラーメン。特に寿司はヘルシーだとパリジェ

ンヌから大人気。その中でも寿司スイーツ!一体どんな寿司?巻き簾に甘い錦糸卵を置き、甘酢飯を伸ばし、チョコレートに芯にして巻きます。カットして山盛りに。最後はチョコレートソースとミントをあしらいます。これがウケてます!食文化は国によって変化します。僕は江戸前寿司が大好きです。フランス料理店の次によく行くのがお寿司屋さん。カリフォルニアロールが今では定着しましたが、寿司スイーツにもそんな日が来るのでしょうか?

僕がメニューを考案する時には召し上がる方を想像しながら作ります。衣食住は一体です。特に女性の皆様が食に興味を示さなくなったら飲食ビジネスは成立しません。ですから普段提供する料理も、比較的女性好みに作ります。これからの季節の変わり目には、僕が一番美味しいと思う厳選食材を使い料理フェアを。鴨、鹿、キジ、小鳩などジビエやフレッシュトリュフ、ジロールなどのキノコ類、脂の乗った海の幸も沢山出て来ます。お好みのワインと一緒にボナペティ!

街と共にある駅です

安全安心定時に加えて、常に活気ある駅を

2013年7月に立川駅長になられた根本さん。

どんな方なのでしょう?

お話をうかがってきました。

—「ようこそ立川へ」という感じですが、速いですよね。助役の皆さんも、駅長もあつという間に異動で換ってしまふ。

根本 平均、2年から3年くらいですかね。—根本さんは東京駅の副駅長や秋葉原の駅長をなさったそうですが、北千住以来で、東京駅は久々の現場だったのではないですか?

根本 そうですね。北千住は結婚する前でしたからね。本当に久しぶりの現場でした。私がいた時に、寝台特急「あさかぜ」が廃止になって、私も写真が新聞に載ったことありましたよ。

—次に秋葉原の駅長になれるわけですが、根本さんが駅長だった頃は、もう電気の街よりオタクの街になっていたんでしょうか?

根本 なっていました。私のいる時につくばエクスプレスが登場して、秋葉原に新しい改札ができ、ヨドバシカメラがオープンしたんです。メイド喫茶の時代ですね。秋葉原だからって変わったことはないですが、神田のお祭りでお神輿を駅に入れたことがありましたね。

—前立川駅長の勝又さんがリテールネットへ異動されたとうかがいましたが、根本さんもリテールネットにいらしたんですよね?リテールネットというのは?

根本 NEWDAYSやKIOSKがそうですね。駅構内の専門店もリテールネットです。わかりやすいのはMonthly Sweetsですね。

—Monthly Sweetsは、多摩地域だと国立駅にありますよね。東京駅も以前は通路の真ん中などでお土産を売っていましたが、それらがリテールネットですか?

根本 そうです。今は変わってしまいました。

—先だつての「東京駅が、街になる」改装で、現在、改札内もNorth CourtとかSouth Courtとかいろいろに分かれています。そこは違うのですか?

根本 ええ、一部はリテールネットで営業していますが、全体の管轄は(株)鉄道会館というところですよ。

—う〜ん、むずかしいんですね。えくてびあんで、姉妹サイト「多摩てばこネット」の企画でJR八王子支社管轄内の駅長方にインタビューしているのですが、多摩地域でも「ののわ」構想で武蔵境駅が(株)中央ラインモールの管轄になって、駅長さんを「駅長兼支配人」って呼ぶようになり、驚きました。全部JRのグループ会社なんですよ?

根本 そうです。それぞれ地域性というものがありますから、それに合わせているんじゃないでしょうか。立川でも、ルミネやecute、グランデュオは、それぞれ別会社ですね。

—立川でも最近は少しコンコースに臨売を見かけますが、八王子は改札を出た所で毎日大々的にやってますよね。たまに山梨から「ももずきん(着ぐるみ)」が来たりして。立川にも来ましたが、あの「ももずきん」って、中に入っている人で動きが違うんですよ(笑)、余計なことですよ。

根本 違います、違います(笑)。私も昔、パンダに入ったことあります。国鉄時代ですけど、上野駅で。当時はスマートだったから入れた(笑)。

—背も高いし、今は立派な体格してらっしゃいますよね(笑)。スポーツなさっていらしたんですか?

根本 やってました。ラグビーを高校からやっていました。

—そうそう、専修大学でキャプテンだったそうですね。

根本 八王子のある大学の監督は同い歳ですが、同志社出身でラグビーつながりです。男の付き合いです(笑)。

—今はラグビーなさってないのですか?

根本 スタッフとしてJRのラグビーチームに行ってます。さぼってサウナだけ入ったりして(笑)。

—(笑)八王子支社の事業部にいらして、初めて多摩地域をお知りになったそうですね。

根本 そうですね。こちらにはそれまで縁がなかったもんですから。八王子支社でこんなもの、もらったんですよ。(1冊のアルバムを見せてくださる)

—これ、支社の事業部のみなさんですか?立川へ異動になれるんで作ってくださったんですね?送別会で頂かれたんですか?

根本 そうです。本当によく作ってくれたと思うんですよ。普通なら色紙に寄書きとかじゃないですか。それをこんな風に写真を貼ってね、コメントもくれて。

—慕われていたんですね。部下の方々ということですよ。なんだか仲良しクラブみたい(笑)。みなさん、部長は優しいって書いてますよ。根本さんはあまり怒らない?



根本 怒らない。本当に間違っていることははっきり言いますが、大事なものは、社員一人ひとりのレベルの向上とチームとしての向上なんです。自分はスポーツをやってきたので、「One for all, All for one」ということが常に頭にあります。人をまとめていくには、まず一人ひとりがしっかりすることが大事です。職場にあっても、原点はスポーツと変わらない。

—駅長というのは駅の管理はもちろんですが、社員を守り社員を育てるという使命がありますよね?

根本 そう。私が新入社員などによく言うのは、友達、同期、学生時代の同級生といった仲間を大事にしろということですよ。

—現在立川駅の駅員さんは…

根本 130人。うち女性は30名です。

—それだけいたら、人間関係ですもの、いろいろありますよね?気が合わないとか、仕事ができると思ったのにできないとか。そういう時はどうおっしゃるんですか?

根本 ひと声かける、ということですよ。ひと声かけていく、そのちょっとした努力なんです。

—社員さんもさることながら、立川駅の

駅長は、地区長として立川地区の駅長さんたちも統括しなきゃならない。

根本 駅長たちはそれぞれ自分の城もっているわけですよ。城内はそれぞれにまとてもらい、それを共有化してもらえばいいということですね。

—でも、個性的な駅長が多いですよ(笑)。

根本 ええ、個性的ですよ。その個性をどんどん出してもらって、それをどう組み合わせるかだと思えます。一見仲良くないようにみえても、それをつなぐの1つなんですよ。

—なるほど。素晴らしいですね。その信頼関係があつて「安心、安全、定時」が当然のようにできるんですね。ところで、立川駅にいらして、根本駅長は立川駅をどうご覧になりましたか?

根本 活気のある駅ですよ。自由通路も機能的だし。でも観光の駅ではない。もし観光を目的とするお客様を呼ぶなら、やはり昭和記念公園とひとつになっていくのがいいと思います。花火、駅伝予選会、市民マラソン、トライアスロン。そのための輸送は、西立川の駅も含めて、こちらでしっかりやりますので。

—IKEAやららばーとについてはどうでしょう?

根本 あつた方がいいと思っています。もちろん車で行って車で帰る、駅周辺には戻らないという意見もあるかもしれない。でも、渋滞は避けられないのですから、電車を利用するお客様も当然います。お客様がまた駅を利用したいと思ってくれるように、駅もおもてなしの心いっぱいに対応していきたいと思っていますね。

根本清美さん
昭和53年4月に国鉄入社。大宮駅、池袋駅、尾久駅、北千住駅で現場経験を積み、旅客指令、旅客課、開発部と進んだところで、民営化、JRへ。関連事業本部で新規生活サービス事業開発としてスポーツ事業(jexer)や、自動車会社設立に携わり、スウェーデン製自動車「VOLVO」の販売を。自動車会社を清算後、東京支社事業部開発課、企画課、保険事業を経て、平成15年4月に東京駅の副駅長。平成17年4月に秋葉原駅長。リテールネット、八王子支社事業部を経て、平成25年7月1日から立川駅長。

(関連記事:多摩てばこネットに掲載中)
※多摩てばこネット「JR 駅長物語—こんにちは!マスター」では、JR 東日本八王子支社管轄内の駅長にお話をうかがっています。本当に個性的な駅長たちの面白い話、感動秘話など、どうぞご覧ください。

ボードゲーム、君の時代だ!

この面白さ、知らない人は損をする?

ボードゲームの人气が高まってきている。
この時を待っていた立川の「隠れた名店」。
B2Fゲームズに行ってみた。

ボードゲームの中心地はヨーロッパ。特にボードゲームの紀元ともいわれる1995年、ドイツに「カタンの開拓者たち」というボードゲームが登場し、爆発的に売れた。ゆえにボードゲームは「ドイツゲーム」と呼ばれることもある。ゲームはただの遊びではなく、収益性を求めるものと認識され、ボードゲームの黄金期が始まった。「ドイツにカタンあり」と言われる頃、日本にもドイツのボードゲームが上陸。ファミリーゲームでありながら、単純に運だけに頼らない戦略が必要、

かつ臨機応変な対応が求められる。数学的な要素が含まれるゲームは、考えることが好きな人の心をくすぐった。ボードゲームを始めて、そんな面白さに魅了された人たちがいた。しかし、ではどのくらいの人たちが興じたかと言えば、日本全国で数百人程度。そんなイメージだった。

それから20年。今までにないボードゲーム人気がやってきた。理由は不況。さらに震災の影響もあった。しかし何よりも、人々はネットを介さないリアルなつながりを求めている。MixiやTwitter、Facebookが、ボードゲーム人気に一役買う。集まりたい時に集まりたい人を探すには、SNSが便利だった。

国立市にある高校に通っていた吉田は、自分などまだまだと謙遜するが、この世界に20年間身を投じてきたベテランのひとりだ。まだ高校生だった吉田は、この面白さを自分たちしか知らないのはもったいない。おそらく他に、本気で広げていこうという人はそういないだろうから、これを仕事にしよう、と思った。本当に面白いボードゲームを作ろう。無謀とも思える、いやボードゲームに価値を見いだせない人には浅はかな思い付きとしか思えないようなことが始まる。ボードゲームメーカーになること、だった。

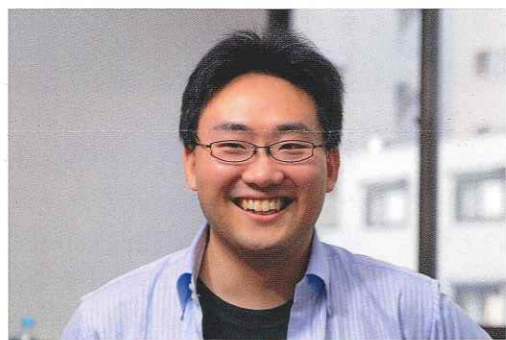
合同会社ニューゲームズオーダーは海外のゲームを輸入、翻訳、卸売をしている。合同会社B2Fゲームズは、店舗でありメーカーとしているが、それ以上に「ゲームの楽しみを生み出す場」だ。リーダーは、吉田恒平。ゲームの仕事始めて10数年、創業して7年。柴崎町で3回移転した。社員はこの夏4人になった。ボードゲームに人生をかけた、志を同じくする仲間だ。会社の看板は出していない。客は隠れた名店を探し出し、ドアを開けることが最初のハードル。店舗経営もパフォーマンス。このドアが開いた時、また新しいゲームが始まる。



こうして話しているうちに、お客様であると同時にスタッフようになっていってしまう



吉田恒平さん(業務執行役員・店長)



井上彰人さん(営業)最初はお客様だったが転職



学生時代お客様だったが新卒で入社。関和征さん(デザイナー)



自社オリジナル製品(復刻版)



ボードゲームを通じて人の輪が、
ペンタメローネ(錦町)で



ボードゲームの数々
知っている人にはわかるすごい物も



店内

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。今月は 曙町・羽衣町・錦町 のお店です。

曙町

- ラ・フランス 529-5522
- ピッカメラ 立川店 548-1111
- Charcoal Dining るもん 527-3022
- 酒亭 玉河 522-2654
- 三菱東京 UFJ 銀行 立川支店 524-4121
- ローソン 立川曙町二丁目店 526-7652
- カフェ アバン 527-4479
- ダイエー 立川店 525-0331
- 手打ちそば いしもと 529-5468
- シンパン 522-6211
- 天ぶら わかやま 525-0222
- 多摩水族館 524-0288
- 井筒屋 522-4433
- すし 魚正 522-3437
- 園部肉店 522-2901
- Cut Studio SOFIA 528-3241
- 立川市女性総合センター アイム 528-6801
- エミリー・フロゲ 高島屋立川店 526-9788
- 立川高島屋 ギフトサロン 525-2111
- オリオン書房 ノルテ店 522-1231
- JTB 法人東京 西東京支店 521-5550
- 鉄板焼 千珠 529-6787

羽衣町

- 額縁専門店 プリムベール 528-6789
- たましん 東立川支店 524-0611
- ギリシャレストラン SHUPOUL 519-3923
- 林歯科医院 522-5657
- 中島豆腐店 522-5732
- 新鮮野菜・惣菜 立川商店 522-3565
- 本・事務用品 泰明堂 522-3353
- 本と文具 ないとう 522-3677
- 赤松タバコ店 524-7852
- まごころ銘茶 狭山園 527-0146
- 美容室 ヒロイン 紅 526-0018
- お好み焼ともんじゃ焼 こけし 526-1267

錦町

- めがね・とけい・補聴器 カワハラ 525-4427
- 鳥料理 くし秀 522-7692
- イタリア料理トラットリアド・シェ 512-8735
- 御菓子司 やな瀬 522-3969
- 宮地楽器 MUSIC JOY 立川南 526-1779
- カフェといいもの penta merone 529-5221
- 中国料理 五十番 522-7472
- 一六珈琲店 527-1680
- 手づくりお菓子専門店 北島こうじ店 524-3190
- new gyoza 1059 餃子天国 526-2283
- イタリアンダイニング asa 529-5668
- バー パルアラディ 523-3917
- H.works 521-2721
- CAFE SOMMEILLER 527-1440
- 食堂 marumi-ya 528-6226
- 手打ち蕎麦 なかさと 524-5758
- 中国整体院 529-1088
- 中国菜館 多味軒 526-5925
- 日本クッキングスクール 522-3440
- 元祖5本指ソックス専門店 LASANTE 540-1616
- ザ・クレストホテル立川 521-1111
- 美容室 アリス 525-1100
- パンと洋菓子 うちのやブルマン 524-9280
- 無門庵ギャラリー 529-2323
- FALCO hair 528-2389

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我浄〉

スカパー！：216ch

スカパー！で放送の常楽我浄はスマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。

マイテレビ：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

天然芝のサッカー場 オープンです

2013年8月23日、武蔵村山にあるプロジェクトMURAYAMA用地一角にある全面天然芝のサッカーグラウンド『真如苑芝生ひろば』がオープンしました。当日は曇り。暑すぎず雨も降らず、そよそよと芝生の上に風が吹く最高のお天気に恵まれ、武蔵村山市 藤野勝市長、武蔵村山市体育協会 宮下清住会長、武蔵村山市市議会 川島利男議長をはじめ多くの来賓方、関係者を迎え、まずオープニングセレモニーが、その後招待された地元少年サッカーチームによる『オープニングマッチ』が行われました。

セレモニーでは、まず真如苑から西川勢二教務長補佐が「天然芝をしっかりと維持しながら、よい形でこのグラウンドが活用されていくように取り組んで参りますのでよろしくお祈りします」と挨拶すると、武蔵村山市長からは「昨年、武蔵村山の女子サッカーチーム『武蔵村山クオーレ』が八王子の大会で優勝するなどサッカー競技への期待が高まっているところでございます。こうした状況下で『真如苑芝生ひろば』が地域に愛される広場として定着されることをご期待申し上げます」と応えました。

『真如苑芝生ひろば』の敷地面積は24,039.08㎡。サッカー用全面芝生グラウンドが1面、ハーフなら2面という広さ。無料駐車場（60台）や駐輪場も完備されています。ここから未来のナショナルチームメンバーが生まれるかもしれないですね。（撮影：落田伸哉）



広くてきれいな芝生



オープニングセレモニー 敷地内のテントで



始球式 市長と体育協会会長らから少年たちにボールが蹴られました

「摂政宮と関東大震災 ―宮内庁の記録から―」



震災発生後の東京駅周辺(写真提供：宮内公文書館)

昭和天皇記念館では宮内庁宮内公文書館との共催による特別展「摂政宮と関東大震災―宮内庁の記録から―」を開催します。会期は2013年9月1日(日)から12月1日(日)まで。本展では、主に関東大震災発生後の摂政宮(のちの昭和天皇)のご動静を宮内公文書館に伝わる記録から紐解きます。また、皇室の方々の思召を体して震災対策に奔走した宮内庁職員の姿も取り上げます。関連事業としてギャラリートーク(担当者による展示解説)も。

日時は、2013年10月6日(日)、11月24日(日)、いずれも13時～13時半、15時～15時半の2回。

えくてびあん別冊

楽しい!おいしい!立川南口特集号 配布中

今年も立川南口をクローズアップ。日頃えくてびあんを置いてくださっているお店に感謝して、飲食店を中心に配布先の各店をご紹介します。一遍に全部のご紹介はできないのですが、昨年よりもご紹介範囲を広げております。昨年はあつというまに配布数すべてが無くなりました。今年もお早目にどうぞ。



今年も賑やかに

今年は特に暑い夏。8月3日には曙町のサンサンロードで「よいとまつり」が、24、25日には南口を中心に諏訪神社例大祭が行われました。暑過ぎたり大雨だったり、今夏はお天気が心配されましたが、いずれのお祭りも楽しく終了。立川市民が中心になって、来街のお客様みんなが楽しめるっていいですね。



トルコからの留学生も楽しんでいました(よいとまつり)



松明まわし(よいとまつり)



諏訪神社例大祭にて(撮影：榎本典泰・落田伸哉)



卒園生の祝電に涙しました

至誠学舎立川理事長で至誠学園統括学園長の高橋利一さん(えくてびあん2013年2月号にインタビュー掲載)が、2013年春の叙勲に際し瑞宝双光章を受賞されました。7月28日のお祝いの会では、学園長ご夫妻が、学園の卒園生たちや現在学園にいる子供たちとこの慶事を共にされていたことが、とても印象的でした。



高橋利一理事長の叙勲を祝う会 ~こどもたちとともに~

「すてき〜」がいっぱい!

おじゃましま〜す! [19]

カフェといいもの penta merone



ライトグリーンのテントとウッドイーな造りのお店。ナチュラルなイメージがあちこちに漂っています。奥に細長い店内には、絵だったり木工品だったりアクセサリーだったり、作家さんたちの丹念な仕事の成果が並んでいます。そう、ペンタメローネはカフェですが、人と人、人と作品が出会う場所でもあるのです。気に入ったものがあつたら、おいしいコーヒーをいただきながら、ゆっくり手に取って見てみるのもいいかもしれません。

ランチタイムのみ頂けるお食事は、季節の野菜がゴロッと入っているキーマ風カレーがオススメです。ご飯はステキな十六穀米。ピリっとした辛さが食欲をそそります。残暑で疲れた体には、刺激もありながら元気を取り戻す一品になりそう。ランチタイムを逃しても、ホットサンドなら閉店までいつでも頂けます。簡単なんだけどおいしい。これがお母さんの味の極みです。食べればわかるおいしさを、どうぞ皆さんもぜひ。



〒190-0022
立川市 錦町1-4-2
TEL 042-529-5221
営業時間 10:00～19:00
定休日 水曜日

表紙の人

三嶋崇義さん、大輔さん、すみれちゃん、優樹君、みのりちゃん

農家としては立川駅が一番近い。東大和から栄町に移ってきて、崇義さんが9代目。大輔さんは10代目になります。3人姉妹かって?いえいえ、立派な11代目、優樹君。ほら!頑張ってるナスを持ち上げているじゃないですか。

かたこと

◆三嶋さんの畑は立川通り沿いにあります。収穫した野菜は敷地内で直売したり直売所にも出荷しています。今回は秋にうれしいナスの登場。身の詰まったナスは思ったよりも重い!本気で頑張ってくれた姉弟でした。◆ボナベティの連載も3回目。撮影の時には、毎回直売所で購入した野菜や卵を持っていきます。普段の食べ方と違った食べ方をシェフに教えてもらうのも、撮影日の楽しみになりました。◆今回の「街を歩けば」は声に出して読んでみてください。それもテーマ曲が「地上の星」だったあの番組ナレーションのイメージで。取材の着地点は「プロフェッショナル」。ボードゲーム、奥が深い!◆JR八王子支社管内の駅長インタビューもすでに16人になりました。立川駅長根本さんのロングインタビューも、多摩でばこネットに掲載中。どうぞこちらもご覧ください。◆好評連載中の「パンのある風景」はあと3回。原稿をお寄せくださる方、どうぞお早目に。ファンがついてくださる企画はなかなかありませんが、この企画、特に女性の方からお褒めを頂きます。意外にハードルが高い企画だけに、とても嬉しいです。◆暑い暑いと思っていましたが、いつの間にか秋の風。高い空、心地よい風の中、えくてびあん配布部隊も頑張っています。皆様あつてのえくてびあん。どうぞ今年もよろしくお願ひ申し上げます。

えくてびあん◎

10月号 第32巻 通巻347号

平成25年10月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082
FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男
(WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。



風立ちぬ

—— ジブリ作品から

「シベリア」というお菓子。ある年齢以上の人には親しみのあるお菓子だが、銀幕に登場して以来、店の片隅にあった「三角」にスポットが当たり、若い人たちの興味の対象となっている。「シベリア」の名前の由来や真ん中の餡についてここで語ろうとは思わない。こうしたことには、ものすごく詳しい人たちがいるということを知っているから。

昭和の中ごろまで、高級な和菓子ではなく庶民的な饅頭を並べている店が、多摩のどの街にもあった。餅菓子屋などと呼んでいた。そういった店では「あんドーナツ」を売っていて、「シベリア」は羊羹をはさんでいるのに、売っているの

はパン屋だった。今でいうベーカリーではなく、駄菓子屋のようなパン屋だったように記憶している。「暮らしの手帖」を見ながらサラダ用「酢油ソース」を作る時代、母が買ってくる「シベリア」より蠟のようなチョコレートをコーティングした菓子パンの方が、おいしそうに見えたものだ。

それにしても、この写真を撮ると決めてから「シベリア」探しに苦勞した。形が三角の「シベリア」がなかなかない。今の立川に「シベリア」的存在は似合わないのかもしれないが、初めて食べたスタッフは「こんなにおいしいと思わなかった」と言っていた。

えくてびあんスタッフ